

# 栄養士のための数学講座 テキスト

(2.28 改訂版)

キャリア教育推進支援センター長  
講師；中村 吉男

九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学  
キャリア教育推進支援センター

## 目次

### 第I章 割合計算の基礎

1. ....	1
2. 割合計算の演習 I	
3. 例題.....	2
<練習問題(1)>	
4. 割合計算演習 II (割合を求める) .....	3
<練習問題(2)> .....	4
5. 割合計算の演習 III .....	5
<練習問題(3)> .....	6
割合計算の基礎 まとめ .....	7

### 第II章 栄養士のための割合を使った栄養計算問題

第1節 三大栄養素に関する計算問題 .....	8
【例題1】	
【例題2】	
【例題3】	
<練習問題(4)> .....	9
第2節 廃棄率と可食部分の計算問題 .....	10
【例題1】	
<練習問題(5)>	
【例題2】 .....	11
<練習問題(6)>	
第3節 可食部重量(純使用量)と発注量の計算問題 .....	12
【例題】	
<練習問題(7)>	
第4節 その他の栄養士に必要な計算問題 I .....	13
【例題1】	
<練習問題(8)>	

【例題 2】 .....	14
<練習問題 (9) >	
第 5 節 その他の栄養士に必要な計算問題Ⅱ .....	15
【例題】	
<練習問題 (10) > .....	17
第 6 節 その他の栄養士に必要な計算問題Ⅲ .....	18
【例題 1】	
【例題 2】 .....	19
<練習問題 (11) > .....	20
第 7 節 その他の栄養士に必要な計算問題Ⅳ .....	22
【例題】	
<練習問題 (12) >	

## 第 I 章 割合計算の基礎

### 1.

割合計算には、2通りの計算方法しかありません。

① 200 g の 30% (3割) を求める方法

② 50 m<sup>2</sup> が 1000 m<sup>2</sup> の何% (何割) かを求める方法

①は、30%を小数に直して ( $30 \div 100 = 0.3$ )、もとになる数200 (基準の数値という) に、その割合 (0.3) を掛けるだけです。

$$\text{(式)} \quad 200 \times 0.3 = 60 \text{ (g)}$$

②は、50 m<sup>2</sup> の 1000 m<sup>2</sup> に占める割合 (%) を求めるには、比べる数値の50を、基準になっている数値 (もとになる数値) 1000で割るだけです。

$$\text{(式)} \quad 50 \div 1000 = 0.05$$

これを百分率 (%) に直すには、0.05を100倍するだけです。

$$\text{(式)} \quad 0.05 \times 100 = 5 \text{ (\%)}$$

歩合 (割・分・厘) に直すには、0.05は5分になります。(テキスト [P7](#) の2を参照)

例えば、0.137では、小数第1位が「割」、小数第2位は「分」、小数第3位は「厘」で、結局、0.137は「1割3分7厘」となります。

以上のように計算は簡単ですが、演習問題を参考にして実際に練習問題を解いてください。解答は別冊になっています。

### 2. 割合計算の演習 I

- 100個の35%を求めよ・・・(35%を100で割って、小数に直して基準の100にかける)

$$100 \times 0.35 = \underline{35} \text{ (個)}$$

- 1000個の35%を求めよ・・・ $1000 \times 0.35 = \underline{350}$  (個)

○ 920個の60% (小数に直す ;  $60 \div 100 = 0.6$ ) を求めよ

$$\dots 920 \times 0.6 = \underline{552} \text{ (個)}$$

### 3. 例題

1) バナナ500個の20%は何個か

$$500 \times 0.2 = \underline{100} \text{ (個)}$$

2) 濃度が15% (食塩水中に食塩が含まれている割合) の食塩水200gには何gの食塩が含まれているか。

$$200 \times 0.15 = \underline{30} \text{ (g)}$$

3) バーゲンセールで50000円の品物が40%の値引きをしていた。いくら安くなるか。

$$50000 \times 0.4 = \underline{20000} \text{ (円)}$$

4) 飲料水720mg中「果汁50%」と記載されていた、何mgの果汁が含まれているか。

$$720 \times 0.5 = \underline{360} \text{ (mg)}$$

#### <練習問題(1)>

① 300gの15%は何gか。

② 400mlの25%は何mlか。

③ 25000円の30%は何円か。

④ 体重60kgの5%は何kgか。

⑤ 600名の1/4は何名か。

⑥受験者200名中合格率は30%であった。何名合格したか。

⑦濃度20%の食塩水120g中には何gの食塩が含まれているか。

⑧900ccの0.5%は何ccか。

⑨20万円銀行に預金した時の利率は0.3%である。利息は何円になるか。

⑩バーゲンセールで全品「25%引き」となっていた。8万円の品物はいくら値引きになるか。

#### 4. 割合計算演習Ⅱ (割合を求める)

1) 20gは50gの何%か

比べる量・20gを、もともになる(基準になる)量・50gで割る



20gの50gに対する割合=比べる量÷もともになる(基準になる)量で求める。

$20 \div 50 = 0.4 \dots 0.4$ を100倍して百分率(%)に直す( $0.4 \times 100 = 40$ )  
よって、20gは50gの40%となる。

2) 200ccは800ccの何%か

$200 \div 800 = 0.25$  これを百分率(%)に直す $\dots 0.25 \times 100 = 25$   
よって、200ccは、800ccの25%となる。

3) 3リットル(1)は15リットル(1)の何%か

$3 \div 15 = 0.2$   $0.2 \times 100 = 20$  A. 20%

4) 500名の受験者中50名が合格した。合格率は何%か

50名の500名に対する割合を求める $\dots$ 50名が比べる量で500名がもともになる量

(式)  $50 \div 500 = 0.1$        $0.1 \times 100 = 10$

よって、合格者50名は、受験者数500名の10% (合格率) となる。

5) 食塩水100g中に食塩が40g含まれている。この食塩水の濃度(食塩の食塩水に対する割合のこと)は何%か

○食塩水100g…もとになる量

○食塩40g…比べる量

食塩水の濃度(割合)・・・ $40 \div 100 = 0.4$        $0.4 \times 100 = 40$

よって、食塩水の濃度は、40%となる。

6) 食塩20gに水180gを入れると、この食塩水の濃度は何%になるか。

食塩20gの食塩水(食塩20g+水180g=200g)に対する割合(濃度)を求める。

・・・ $20 \div 200 = 0.1$        $0.1 \times 100 = 10$       A. 10%

### <練習問題(2)>

① 30gは200gの何%か(30gの200gに対する割合)

② 4リットルは50リットルの何%か

③ 5ccの20ccに対する割合を求めよ(5ccは20ccの何%か)

④ 受験者1500名中、合格者は30名であった。合格率を求めよ。

⑤ 食塩水 200 g 中に食塩が 5 g 含まれている。この食塩水の濃度は何%か。

⑥ 食塩 12 g に水 18 g を加えて食塩水を作った。この食塩水の濃度は何%か。

### 5. 割合計算の演習Ⅲ

1) 体重 60 kg の人が、15%体重が増えると何 kg になるか。

$$60 \times 0.15 = 9 \quad 60 + 9 = 69 \text{ (kg)}$$

解答の 69 (kg) を一つの式で求めることができる。

$$60 \times (1 + 0.15) = 69 \quad \longrightarrow \quad 60 \times 1.15 = 69$$

小数 0.15 の基準の数字は元々 1 である。ここでは、60 kg が基準であるから、60 kg を 1 として、15% を 0.15 として、小数に戻して、その割合 (1 + 0.15 = 1.15) を基準の 60 に掛ければ良いことになる。

2) 100 ml の 30% 増では何 ml になるか。

$$100 \times (1 + 0.3) = 100 \times 1.3 = \underline{130 \text{ (ml)}}$$

3) 50 kg の体重の人が、20%体重が減ると何 kg になるか。

割合でいえば、100% から 20% 減少したので (100 - 20) で最初の体重の 80% になったということである。

このパーセントを小数で表すと 100% は 1 で 20% は 0.2 なので (1 - 0.2 = 0.8) となる。

よって、式は  $50 \times (1 - 0.2) = 50 \times 0.8 = \underline{40 \text{ (kg)}}$  となる。

但し、数値が簡単な場合は、暗算の方が早いのは当然である。50 kg の 20% (0.2) をかけて (10 kg) を 50 kg から引いた方が簡単である。

4) 5000 円の 40% 引きはいくらになるか。

$$5000 \times (1 - 0.4) = 5000 \times 0.6 = \underline{3000 \text{ (円)}}$$



5) 250万円の車の値引きが10%の場合いくらになるか。

$$250 \times (1 - 0.1) = 250 \times 0.9 = \underline{225} \text{ (万円)}$$

但し、このようなケースでは、250万円の10%は、25万円とすぐ分かるので、250万円からそのまま25万円を引いて225万円とした方が、暗算で簡単にできる。

<練習問題(3)>

1. 300gの15%増では何gになるか。

( ) を使って一つの式で求めよ。

2. 定価3000円の品物の30%引きでは売値は何円になるか。

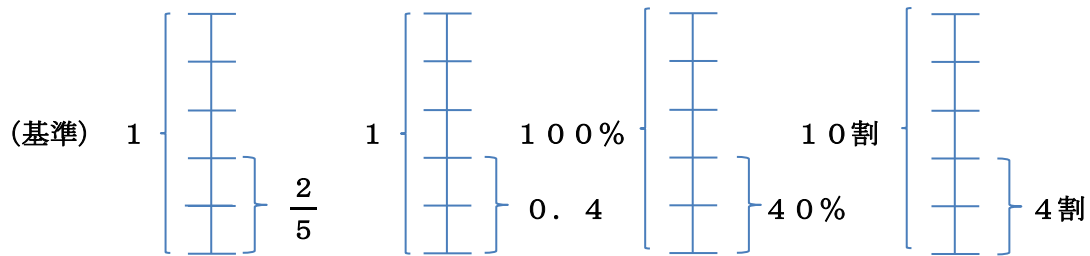
3. 体重65kgの人が、10%体重が増加すると何kgになるか。

4. 体重90kgの人が、20%体重が減ると何kgになるか。

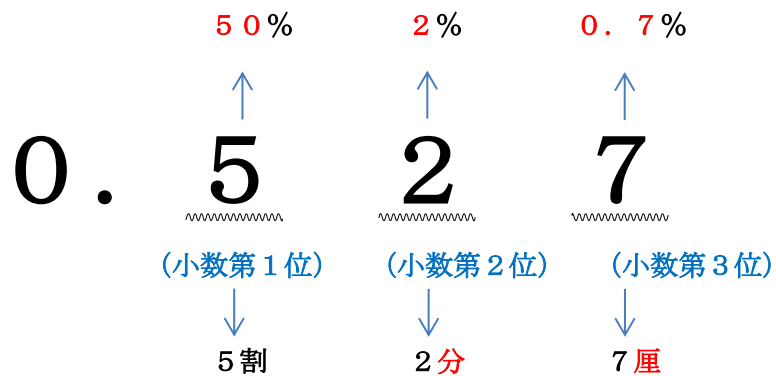
## 割合計算の基礎 まとめ

### 1. 分数・小数・百分率・歩合の関係（すべて割合を表す・基準が異なるだけ）

分数  $2/5$  = 小数  $0.4$  = 百分率  $40\%$  = 歩合  $4割$  (歩合; 割・分・厘)



### 2. 小数を百分率・歩合で表す



$$\left[ \begin{array}{l} 0.5 = 50\% = 5割 \\ 0.02 = 2\% = 2分 \\ 0.007 = 0.7\% = 7厘 \\ 0.527 = 52.7\% = 5割2分7厘 \end{array} \right.$$

## 第Ⅱ章 栄養士のための割合を使った計算問題

第Ⅰ章で、割合計算の基礎を学んできましたが、割合の基礎が分かれば、栄養士に必要な計算問題は、少しの応用でできるようになります。

### 第1節 三大栄養素に関する計算問題

#### 【例題1】

塩分3%の味付けにするだしの量が200ccある。塩を何グラム入れればよいか。

まず、200ccをgに直す  $\longrightarrow$  1cc (量) = 1g (重さ) なので200ccは200gとなる。

よって、3%の割合を小数に直して(3を100で割って)、200gにその割合(0.03)を掛ければ良い。

(式)

$$200 \times 0.03 = 6 \quad \underline{A, 6g}$$

#### 【例題2】

1日の必要エネルギーを2000キロカロリー(kcal)とした場合、三大栄養素の一つである脂肪のエネルギー比率は、そのうち25%を占める。1日に摂取する脂肪のカロリーは何キロカロリーになるか。又、それは脂質の摂取量として何gになるか。

$$2000 \times 0.25 = \underline{500 \text{ (kcal)}}$$

ここで、脂肪 1g = 9kcal なので、500を9で割れば、gに変換できる

$$500 \div 9 = 55.5\cdots \quad \underline{A, \text{およそ(約) } 56g}$$

#### 【例題3】

1日の必要エネルギーを1800キロカロリー(kcal)とした場合、三大栄養素の一つである糖質のエネルギー比率は、その内の60%を占める場合、1日に摂取する糖質のカロリーは何キロカロリーになるか、又、それは糖質の摂取量として何gになるか。

$$1800 \times 0.6 = 1080 \text{ (kcal)}$$

ここで、糖質 1g = 4kcal なので、1080を4で割れば、gに変換できる

$$1080 \div 4 = 270 \quad \underline{A, 270g}$$

<練習問題（４）>

1. 塩分2%の味付けにするだしの量が300ccある。塩を何g入れればよいか。
2. 塩分0.6%の味付けにするだしの量が150ccある。塩を何g入れればよいか。
3. 1日の必要エネルギーを1500キロカロリー（kcal）とした場合、三大栄養素の一つである脂肪のエネルギー比率は、そのうち30%を占める。1日摂取する脂肪のカロリーは、何キロカロリーとなるか。又、それは摂取量として何gになるか。
4. 1日の必要エネルギーを1800キロカロリー（kcal）とした場合、三大栄養素の一つである脂肪のエネルギー比率は、そのうち30%を占める。1日に摂取する脂肪のカロリーは、何キロカロリーとなるか。又、それは摂取量として何gになるか。  
(脂肪1g = 9kcal)
5. 1日の必要エネルギーを1800キロカロリー（kcal）とした場合、三大栄養素の一つである糖質のエネルギー比率は、そのうち60%を占める。1日に摂取する糖質のカロリーは、何キロカロリーとなるか。又、それは摂取量として何gになるか。  
(ちなみに糖質1g = 4kcal)

## 第2節 廃棄率と可食部分の計算問題

### 【例題1】

「ある食品の素材材料10kgに対する廃棄率（皮などの捨てる部分の割合）が2%の場合の廃棄部分の重量と可食部分（皮などの廃棄する部分を除いた食べることが可能な部分）の重量を求めよ。」

（求め方）

《廃棄部分の重量》

$$10 \text{ kg の } 2\% \text{ を求める } \cdots 10 \times 0.02 = 0.2 \text{ (kg)}$$

《可食部分＝素材材料－廃棄部分の重量》

$$10 - 0.2 = 9.8 \text{ (kg)}$$

### <練習問題（5）>

1. ある食品の素材材料800kgに対する廃棄率（皮などの捨てる部分の割合）が3%の場合の廃棄部分の重量と可食部分の重量を求めよ。
2. ある食品の素材材料20kgに対する廃棄率（皮などの捨てる部分の割合）が5%の場合の廃棄部分の重量と可食部分の重量を求めよ。
3. ある食品の素材材料35kgに対する廃棄率（皮などの捨てる部分の割合）が10%の場合の廃棄部分の重量と可食部分の重量を求めよ。

**【例題 2】**

「ある食品の素材材料が 20 kg でした。調理後の可食部重量が 16 kg のときの廃棄率を求めよ。」

《求め方》

○最初に廃棄する部分の重量を求める（素材材料の重量－可食部重量）

$$20 - 16 = 4 \text{ (kg)}$$

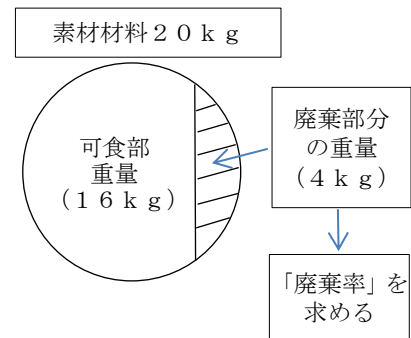
○この廃棄する部分の重量 4 kg の素材材料の重量 20 kg に対する割合（廃棄率）を求める

↓  
廃棄率＝廃棄する部分の重量÷素材材料の重量

$$4 \div 20 = 0.2$$

この小数の 0.2 を 100 倍してパーセントに直す

$$0.2 \times 100 = 20 \quad \underline{\text{A, 20\%}}$$



**<練習問題 (6) >**

1. 「ある食品の素材材料が 5 kg でした。調理後の可食部重量が 4 kg のときの廃棄率を求めよ。」

2. 「ある食品の素材材料が 8 kg でした。調理後の可食部重量が 6 kg のときの廃棄率を求めよ。」

3. 「ある食品の素材材料が 500 g でした。調理後の可食部重量が 450 g のときの廃棄率を求めよ。」

### 第3節 可食部重量（純使用量）と発注量の計算問題

#### 【例題】

廃棄率20%の食材を一人当たりの純使用量として200g使用するときの20人分の発注量を求めよ。

《求め方》

○純使用量（これは可食部重量である）の割合（%）を求める

純使用量の割合（%）

= 素材重量（これは発注量と同じ）の割合（100%） - 廃棄率（%）

$100 - 20 = 80$ （%）……純使用量（可食部重量）の割合（%）

○素材材料の重量（発注量）を求める

素材材料の重量（発注量）をXgとすると…Xgの80%が純使用量（可食部重量）となるので、下記の方程式が書ける。

$$X \times 0.8 = 200 \qquad X = 200 \div 0.8 = 250 \text{ (g)} \cdots 1 \text{ 人分}$$

20人分なので20倍して求める

$$250 \times 20 = 5000 \text{ (g)}$$

A, 5, 000gもしくは5kg

#### <練習問題（7）>

1. 廃棄率5%の食材を一人当たりの純使用量として95g使用するときの5人分の発注量を求めよ。

2. 廃棄率18%の食材を一人当たりの純使用量として164g使用するときの5人分の発注量を求めよ。

#### 第4節 その他の栄養士に必要な計算問題 I

##### 【例題1】

「総エネルギーに対する各栄養素比率によるエネルギー量を求めよ。」

総エネルギー量；2000 kcal

○タンパク質エネルギー比；15%（2000kcalの15%を求める）

$$2000 \times 0.15 = 300$$

○脂質エネルギー比；25%

$$2000 \times 0.25 = 500$$

○炭水化物エネルギー比；60%

$$2000 \times 0.60 = 1200$$

##### <練習問題（8）>

「総エネルギーに対する各栄養素比率によるエネルギー量を求めよ。」

総エネルギー量；1500 kcal

○タンパク質エネルギー比；15%

○脂質エネルギー比；25%

○炭水化物エネルギー比；60%



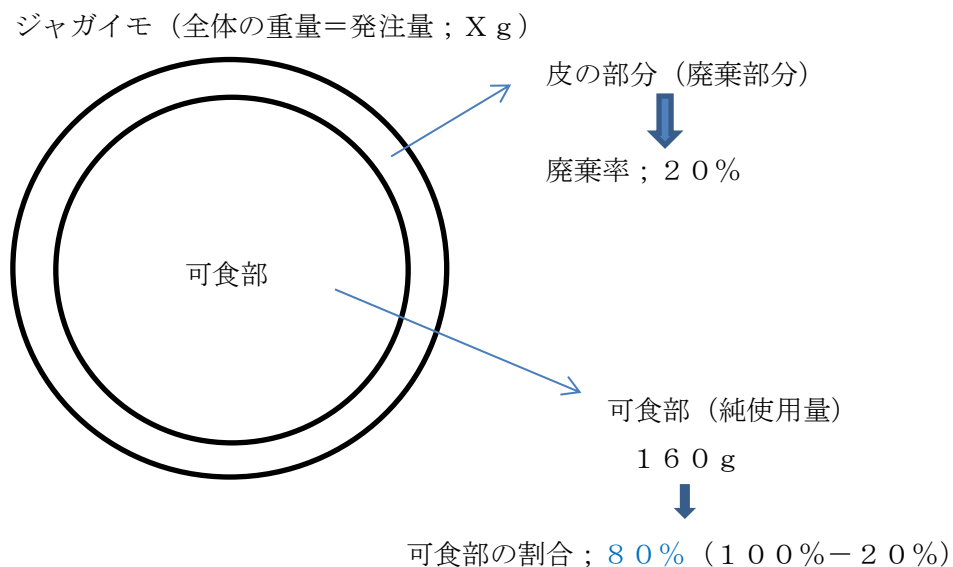


## 第5節 その他の栄養士に必要な計算問題Ⅱ

### 【例題】

「肉じゃが」を作るのに、ジャガイモ1人分160g（可食部＝純使用量）が必要です。5人分では、ジャガイモ（皮つき）を何kg発注すればよいですか。ちなみにジャガイモの廃棄率（皮などの廃棄する部分の割合）は20%とする。

### 《解法①（ジャガイモ1人分の発注量から求める方法）》



1人分の発注量（ジャガイモ1人分の全体の重さ）をX gとする。  
ところで、廃棄率が20%なので、可食部の全体X gに対する割合は、80%となる。  
1人分の発注量X gの80%が可食部重量（160g）なので、次の式が書ける。

$$\begin{aligned} X \times 0.8 &= 160 \\ X &= 160 \div 0.8 \\ X &= 200 \end{aligned}$$

1人分の発注量が200gなので、5人分はこれを5倍する。

$$200 \times 5 = 1000 \text{ (g)}$$

A, 1kg

《解法②（5人分の可食量から求める方法）》

手順（1）・・・1人分160gなので5人分だと次の式となる。

$$160 \times 5 = 800$$

800gをkgに直すと、1kgは1000gなので

$$800 \div 1000 = 0.8 \text{ (kg)}$$

手順（2）・・・次に5人分のジャガイモの発注量をXkgとすると、5人分の可食部の割合も、1人分のときと同じ80%になるので、次の式が成立する（Xkgの80%が0.8kgとなる式）。

$$\begin{aligned} \underline{X} \times 0.8 &= \underline{0.8} \\ X &= 0.8 \div 0.8 \\ X &= 1 \end{aligned}$$

A, 1kg

《上記の手順（2）の別解》

発注量を求める公式に数値を当てはめる場合

$$\begin{aligned} \text{発注量 (総使用量)} &= \frac{\text{(5人分)}}{\text{可食量}} \times \frac{100}{100 - \text{廃棄率}} \\ &= 800 \times \frac{100}{100 - 20} \\ &= \frac{10}{\cancel{800}} \times \frac{100}{\cancel{80}} \\ &= 1000 \text{ (g)} \end{aligned}$$

<練習問題(10)>

1. 「肉じゃが」を作るのに、ジャガイモ1人分810g（可食部＝純使用量）が必要です。  
15人分では、ジャガイモ（皮つき）を何kg発注すればよいですか。ちなみにジャガイモの廃棄率（皮などの廃棄する部分の割合）は10%とする。

例題における解法①の解き方で計算（Xを使った方程式を使用）…（1人分の発注量から求める）

例題における解法②の解き方で計算（方程式と公式を使った2種類ある）

①方程式を使う（15人分の発注量から求める）

②公式を使う

## 第6節 その他の栄養士に必要な計算問題Ⅲ

### 【例題1】

「大根の可食部100g当たりのエネルギーは25キロカロリー、炭水化物は5.3gです。  
次の各問いに答えなさい。

(問1) 可食部40gのエネルギーを求めよ。

#### 《解法①…割合で求める方法》

40gが100gに対してどれだけの割合かを求める



40gの100gに対する割合 (AのBに対する割合・・・ $A \div B$ で求める)

$40 \div 100 = 0.4$ ・・・これを100倍して百分率 (%) に直すと

$0.4 \times 100 = 40$  (%) となり、25キロカロリーの40%となるので、

$25 \times 0.4 = 10$                       A, 10キロカロリー

#### 《解法②…比で求める方法》

$100 \text{ (g)} : 25 \text{ (Kcal)} = 40 \text{ (g)} : X \text{ (kcal)}$

$100 \times X = 25 \times 40$

$100 \times X = 1000$

$X = 1000 \div 100$

$X = 10$                       A, 10kcal

(問2) 可食部重量0.2kgに含まれる炭水化物量を求めよ。

#### 《解法①…割合で求める方法》

0.2kg (200g) の100gに対する割合を求める



$200 \div 100 = \underline{2}$  (これは100gの2倍の重量を表す…百分率で言えば200%である)

よって、炭水化物5.3gを2倍することになる。

$5.3 \times 2 = 10.6$                       A, 10.6g

《解法②…比で求める方法》

$$100 \text{ (g)} : 5.3 \text{ (g)} = \overset{(0.2 \text{ kg})}{\underset{\parallel}{200 \text{ (g)}}} : X \text{ (g)}$$

$$100 \times X = 5.3 \times 200$$

$$100 \times X = 1060$$

$$X = 1060 \div 100$$

$$X = 10.6 \quad \underline{\underline{A, 10.6 \text{ g}}}$$

【例題2】

「リンゴ（1個200g）の廃棄率は15%です。また、リンゴ可食部100g当たりのエネルギーは57Kcal、タンパク質は0.1gです。次の問いに答えなさい。

（問1）リンゴ1個（可食部）の重量を求めよ。

廃棄率が15%なので、可食部の割合（100%－15%）は85%となる。

よって、200gの85%を求めることになる。

$$200 \times 0.85 = 170$$

$$\underline{\underline{A, 170 \text{ g}}}$$

（問2）リンゴ1個（可食部）のエネルギーを求めよ。

《解法①》

可食部170gの100gに対する割合を求めると

$$170 \div 100 = 1.7 \text{ (可食部重量は100gの1.7倍となる)}$$

よってエネルギーも1.7倍となるので

$$57 \times 1.7 = 96.9$$

$$\underline{\underline{A, 96.9 \text{ kcal}}}$$

《解法②…比で求める方法》

$$100 \text{ (g)} : 57 \text{ (kcal)} = 170 \text{ (g)} : X \text{ (kcal)}$$

$$100 \times X = 170 \times 57$$

$$100 \times X = 9690$$

$$X = 9690 \div 100$$

$$X = 96.9 \quad \underline{A, 96.9 \text{ kcal}}$$

(問3) リンゴ1個(可食部)のタンパク質量を求めよ。

《解法①》

タンパク質量も1.7倍となる

$$0.1 \times 1.7 = 0.17$$

$$\underline{A, 0.17 \text{ g}}$$

《解法②…比で求める方法》

$$100 \text{ (g)} : 0.1 \text{ (g)} = 170 \text{ (g)} : X \text{ (g)}$$

$$100 \times X = 170 \times 0.1$$

$$100 \times X = 17$$

$$X = 17 \div 100$$

$$X = 0.17 \quad \underline{A, 0.17 \text{ g}}$$

<練習問題(11)>

1. リンゴ(1個300g)の廃棄率は10%、リンゴの可食部100g当たりのエネルギーは57kcal、タンパク質は0.1gです。次の問いに答えなさい。

(問1) リンゴ1個(可食部)の重量を求めよ。

(問2) リンゴ1個(可食部)のエネルギーを求めよ。

(問3) リンゴ1個(可食部)のタンパク質量を求めよ。

2. ウィンナーソーセージ8kgを給食利用者200人の食事に使用した。ウィンナー100g当たりのタンパク質量は13.2gです。一人当たりのタンパク質量を求めよ。

ヒント;最初に一人当たりのウィンナーの使用量を求めて(gに直すことに注意)、それから上記の例題のように解く



## 第7節 その他の栄養士に必要な計算問題Ⅳ（塩分計算）

### 【例題】

「1人分の汁の量150ml 塩分濃度0.8%とする。」

- (1) 4人分の汁の味を塩だけでつけるとすれば何g用いるか。  
(2) 4人分の汁の味をつける場合、塩の半分を醤油（塩分含有量16%）でつけるとすれば何グラム用いるか。

(1) の解答

$$150 \times 0.008 = 1.2 \text{ (1人分の塩の量)}$$

$$1.2 \times 4 = 4.8 \text{ (4人分)}$$

A, 4.8 g

(2) の解答

$$4.8 \div 2 = 2.4 \text{ (これが塩の半分で、醤油に含まれる塩分量となる)}$$

醤油の量をX gとすると

X gの16%が塩分量2.4 gとなるので、これを式（方程式）で表すと

$$X \times 0.16 = 2.4$$

$$X = 2.4 \div 0.16$$

$$X = 15$$

A, 15 g

### <練習問題（12）>

1. 「1人分の汁の量200ml 塩分濃度0.5%とする。」

- (1) 5人分の汁の味を塩だけでつけるとすれば何g用いるか。

- (2) 5人分の汁の味をつける場合、塩の半分を醤油（塩分含有量20%）でつけるとすれば醤油は何g用いるか。

2. だし汁 250 g を 0.8% の塩分調味パーセントで調味するときの塩分量を求めよ。  
次に、麦みそ（塩分相当量 10.7%）を用いて、このだし汁を調味するときに必要な  
麦みその重量を求めよ。

3. だし汁 2 kg を 0.5% の塩分調味パーセントで調味するときの塩分量を求めよ。  
次に、麦みそ（塩分相当量 10.7%）を用いて、このだし汁を調味するときに必要な  
麦みその重量を求めよ。